

会 議 録

会議の名称	令和5年度小牧市企業新展開支援プログラム推進協議会					
開催日時	令和5年11月16日(木)午後2時00分～午後3時30分					
開催場所	小牧市役所本庁舎6階 601会議室					
出席者及び欠席者	<p>【委員】</p> <p>○出席者</p> <p>清水 真 (中部大学 経営情報学部 教授)</p> <p>野田拓哉 ((株)野田スクリーン 代表取締役)</p> <p>坪井和巳 (小牧商工会議所 専務理事)</p> <p>石川 徹 (地域活性化営業部長)</p> <p>○欠席者</p> <p>なし</p> <p>【事務局】</p> <p>三品克二 (地域活性化営業部次長兼企業立地・次世代産業推進課長)</p> <p>久田雅樹 (商工振興課長)</p> <p>宮本智成 (商工振興課 新産業創出係長)</p> <p>五十君有美子 (商工振興課 商工労政係長)</p> <p>早瀬大介 (企業立地・次世代産業推進課 企業立地・次世代産業係長)</p> <p>多田 匠 (商工振興課 新産業創出係主事補)</p>					
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	傍聴定員	3名	傍聴人数	0名
会議次第	<p>1 小牧市企業新展開支援プログラムの進捗状況について</p> <p>2 その他</p>					
問合せ先	小牧市役所 地域活性化営業部 商工振興課					
会議内容	別紙1参照					

会 議 内 容

【事務局久田】

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より、令和5年度小牧市企業新展開支援プログラム推進協議会を始めさせていただきます。

本日の進行は、冒頭の部分のみ、事務局の商工振興課の久田が務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

初めに、本会議は公開としておりますが、傍聴人数は0名です。

次に、配付資料をご説明します。お手元にお配りしている会議資料は、資料1の小牧市企業新展開支援プログラム（2023～2027）補助制度実績、参考1として小牧市企業新展開支援プログラム推進協議会設置要綱、参考2として委員名簿であります。

本日は本協議会の第1回目の開催でありますので、本協議会について事務局より説明させていただきます。

参考1の設置要綱をご覧ください。

第1条でプログラムの推進等に関する確認、効果の検証等を行うため、本協議会を置くとしております。

第2条で本協議会の所掌事項として、プログラムの事業及び取組の効果の検証に関すること、その他プログラムの推進に関し必要なことについて意見交換を行うとしております。

第3条で委員構成として、学識経験者、小牧商工会議所の代表、市内事業者の代表、市の地域活性化営業部長のほかその他市長が適当と認める者の5人以内で組織するとしております。

続いて、事務局より簡単に委員の皆様をご紹介します。

まず、学識経験者として中部大学経営情報学部教授の清水様です。清水様には、昨年度まで開催した本プログラムの策定検討委員会でも委員長を務めていただきました。

次に、小牧商工会議所の代表として専務理事の坪井様です。坪井様にも、本プログラムの策定検討委員会でも委員を務めていただきました。

次に、市内事業者の代表として、株式会社野田スクリーン代表取締役野田 拓哉様です。㈱野田スクリーン様におかれましては、商工振興課及び企業立地・次世代産業推進課の業務で関係しており、ご意見をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。

最後に、プログラムを所管しております地域活性化営業部の石川部長です。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、設置要綱第4条に基づき、本協議会の会長を選出させていただきます。昨年度までプログラムの策定検討委員会でも

委員長を務めていただきました清水様を指名させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、会長に万が一事故等があるときの職務の代理者を坪井様にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

本協議会についての事務局からの説明は以上です。

それでは、お手元の次第に記載の議題につきましては、設置要綱第4条第2項により、以後の議事の取り回しを清水会長にお願いいたします。

【清水会長】

プログラム推進協議会については、昨年度まで開催していたプログラム策定委員会で作り上げたプログラムを作りっぱなしではなく、しっかりと動いているかどうかを確認、検討するというところで作られた協議会となります。皆様よろしく願いいたします。

それでは早速、議事に入りたいと思っております。

議題1「小牧市企業新展開支援プログラムの進捗状況について」であります。事務局より説明を求めます。

【事務局宮本】

それでは、小牧市企業新展開支援プログラムの進捗状況について、説明させていただきます。

まずプログラムにつきましては、お手元のプログラム概要版に沿って簡単に説明させていただきます。1 小牧市の産業特性ということで、本市の位置図や広域交通体系の状況、土地の利用状況、主要産業である製造業の推移、本市と愛知県の製造出荷額等の構成比を示しております。

次に、2 事業者アンケート結果と本市の産業振興上の課題としまして、プログラム策定にあたって市内事業者にアンケート調査を実施しました。アフターコロナを見据えて重要度が増した点として、人材の育成や確保、手元資金の確保や財務体質の強化、既存事業・製品の改良や既存の取引先との連携強化、事業計画の策定や見直し、その次にデジタルを活用した生産性向上や新商品・新サービスの開発、省エネルギー・脱炭素への取り組みということが挙げられております。この結果を元に本市の産業振興上の課題として、課題1 中小企業の持続的な企業経営、課題2 デジタル化・DX、脱炭素への対応、課題3 企業立地・次世代産業の推進、課題4 企業の新たな取組や起業・創業の促進、課題5 人材の確保・育成とまとめております。

次に、3 産業振興の基本理念と体系ということで、理念としましてアフターコロナの持続可能な社会を支える産業・経済の確立としており、その下に4つの戦略をおいております。戦略1 経営改革と経営基盤の強化、戦略2 産業集積の強化、戦略3 企業チャレンジ支援、戦略4 小牧で

働く人材支援ということで、それぞれその下に具体的な取組み方針を記載しております。各取組み方針に紐づくかたちで補助制度や取組みがあるということになります。また、本市と小牧商工会議所様で共同設立しましたこまき新産業振興センターという組織がありまして、①から③の取組みを市の取組みとも連携して市内企業様の支援を行っております。

次に、4 具体的取組ということで、先ほどの戦略に基づく具体的な取組みを掲載しております。なお、再掲となっているものは1つの戦略ではなく、複数の戦略にまたがるものになりますので、このように掲載しております。戦略1の取組み方針1として、14の補助制度や取組み、取組み方針2として3つの補助制度、戦略2の取組み方針1、2として、それぞれ5つの補助制度、戦略3の取組み方針1として、再掲になりますが3つの補助制度、取組み方針2として5つの補助制度と取組み、最後に戦略4の取組み方針1として、再掲を含む7つの補助制度と取組みを掲載しております。

5 推進体制としまして、小牧市とこまき新産業振興センターで市内事業者を支援していく中で国や県、大学や専門機関、小牧商工会議所様や金融機関様と連携を図りながらこのプログラムを推進していくとしております。プログラムの推進に向けては、本プログラムを作って終わりではなく、市内事業者様へ知っていただくことが重要で、積極的な周知に努めていくとしております。また、PDCA サイクルにより、支援の方向性や効果を把握して、本協議会を設置することで、必要な改善等を継続的に実施し、効果的・効率的な事業実施に努めるとしてしております。

プログラムの説明については、以上となります。

本協議会では、主に、4 具体的取組の中の市の補助金制度の実績や新規で開始した取組みの実績についてご意見をいただきたいと考えております。また、本来は前年度1年間の実績に対して、効果の検証やさらなる推進に向けてのご意見をいただく予定ですが、今年度よりプログラムが開始したところがございますので、本日は、今年の4月から9月までの上半期の実績をもとにご意見をいただきたいと考えております。

それでは、お手元の資料1に沿って、各補助制度の実績を順にご説明します。

(資料1の各補助制度・取組みについて、概要、実績、担当部署のコメントを順に読み上げた)

以上で、議題1の説明とさせていただきます。

【清水会長】

説明は以上です。ご質問、ご意見はありませんか。

【坪井委員】

実績がまだない補助制度については、融資を受けている事業者さんが、これからの返済が厳しく、廃業されるところもあると聞いておりますので、引き続き周知していただきたいと思います。また、プログラムの策定には私も参画させていただき、先端産業や次世代、航空宇宙産業など耳ざわりは良いですが、小牧の事業者さんからすると自社が次世代産業に当たるのか、いや当たらないだろうと考え、最初から補助金を使おうと思わないなど、先端産業というタイトルがかっこよくて少し難しいのかと思います。自身の事業が対象になるのか、制度を使えるのかと悩まれるものもある気がします。

次に、デジタル化支援補助金が早々に予算上限に達したということですので、補助限度額を少し下げても多くの事業者さんに使っていただけるよう予算を潤沢につけていただくことをご検討いただきたいと思います。最後に、人材確保については、新卒だけでなく、中途や高齢者採用に関する制度もご検討いただけると事業者さんにとっては良いのではないかと思います。

【清水会長】

ありがとうございます。これについて、事務局から何かありますか。

【事務局久田】

周知につきましては、個別の補助金説明会を既に4回ほど開催しておりますので、引き続き周知に努めていきたいと思います。次に、デジタル化支援補助金については、来年度に向けて、裾野を広げたり、額を変更するなど見直しをしていきたいと考えております。

【清水会長】

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

プログラムは今年度から始まったところで、まだ年間通しての実績が出ていない状況で今後の方向性などについての意見はまだ難しいかもしれませんが、上半期の実績をふまえ感想でも結構ですので、お1人ずつ聴いていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。では、ご意見頂きましたが、改めて坪井委員お願いいたします。

【坪井委員】

先ほど事務局からご説明もありましたが、周知については、商工会議所や金融機関、税理士さんなども活用いただいて、もっと多くの事業者さんに補助制度を使っていただけると良いと思います。

【事務局久田】

商工会議所様にはメールマガジン等での周知にご協力をいただいておりますが、その他にがんばる中小企業を応援する会の事業者様にご説明をさせていただくなど今後も周知を拡大していきたいと思っております。また、商工振興課でもメールマガジンの配信を開始いたしまして、現在169の事業者様にご登録いただいている状況です。

【清水会長】

ありがとうございます。

では、次に野田委員お願いいたします。

【野田委員】

弊社でも市の補助金を5, 6件利用させていただいておりますが、必要書類や要件が解釈しづらく、電話で問い合わせたということがありました。そういったことが煩わしいと思うと、なかなか進まないということもありますので、Q&Aなどが充実されていると非常に有り難いと思っております。逆に、フローチャートで丁寧に説明されている補助金もありまして、こちらは非常にやりやすかったと担当から聞いております。

【清水会長】

ありがとうございます。これについて、事務局いかがですか。

【事務局久田】

ご意見いただきましたQ&Aやフローチャートなど取り入れて、事業者様にとってスムーズに申請までたどり着けるよう検討していきたいと思っております。

【清水会長】

では、次に石川委員お願いいたします。

【石川委員】

デジタル化支援補助金が、早々に予算に達したということがありましたので、現状と今後の方向性をお願いします。

【事務局久田】

デジタル化支援補助金につきましては、当初予算1800万でスタートしましたが、申請があつという間にいっぱいになりましたので、予算を流用し、最終的に2600万円となっております。内訳を見ますと、14件のうち補助限度額300万円に達しているのが4件で計1200

万となっております。これを踏まえて、デジタル化に一步踏み出す企業を増やすということが大事だと思いますので、限度額を見直すよう検討しております。また、補助対象経費が100万円以上の場合は、申請にあたり、こまき新産業振興センターが事前に事業を確認しておりますので、センターとも連携して制度の見直しを行い、裾野を広げていきたいと思っております。

【清水会長】

DXが何かわからないという企業が多い中で、なぜこれほど使われているか疑問でしたが、よくわかりました。ありがとうございます。

【石川委員】

説明会や口コミは非常に有効的な周知方法ですので、商工会議所様や大学様、各企業様におかれましても引き続きご協力をいただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

【野田委員】

デジタル化支援補助金については、昨年11月ぐらいにChatGPTが発表されて、中小企業家同友会でもAIとは何かなど議論がされるぐらい衝撃的な内容でしたので、そういったことも拍車をかけた要因かと思えます。

【事務局久田】

今、委員が仰られたように、こまき新産業振興センターでもAIに関するセミナーを開催したところ、応募者多数で満席になったという実績もあります。今後は、DX、デジタル化をしていくうえでChatGPTは外せないものになってくるかと思えます。

【清水会長】

他にはよろしいでしょうか。

それでは今出された意見等も参考に引き続きプログラムの推進に取り組んでいただくようお願いいたします。

次に、次第2その他として何かございますか。

なければ議事を終了し事務局にお返しします。

【事務局久田】

委員の皆様、ありがとうございました。

本協議会につきましては、原則年1回の開催を予定しており、来年度以降につきましては、毎年8月頃開催し前年度実績をふまえてご意見を

いただく予定としております。

来年度に入りましたら、改めて委員の皆様へ開催日時の調整等のご連絡させていただきますので引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和5年度小牧市企業新展開支援プログラム推進協議会を終了させていただきます。

ありがとうございました。